学校番号	1004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳述　政治・経済　　（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料 2026　（東京法令出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主権者としての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
・政治的、経済的な出来事の歴史的背景やメカニズムを意識して学習する。
・より良い社会の仕組みについて、自らの考えを持てるようにしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の政治的、経済的な諸課題の要因を歴史的観点から考察することができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・資料を通じて、課題の要因を分析する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
・国際社会に主体的に生きる主権者としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質について広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会に対する政治的、経済的な関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、より良い社会を形成していく市民としての責務を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	現代日本の政治	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構 ・現代日本の政治	a: 政治的な事柄を通じて、諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b: 政治的な事柄を通じて、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論を活用することができている。 c: よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	定期考査	定期考査	提出ノート
2学期	現代日本の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代経済と福祉の向上	a:　経済的な事柄を通じて、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得することができている。 b: 現代社会の諸課題を把握する力や説明する力、身に付けた判断基準を根拠に構想する力、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を習得することができている。 c: よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	定期考査	定期考査	提出ノート

3学期	グローバル化する国際社会の諸課題	・現代の国際政治 ・現代の国際経済 ・国際社会の諸課題の探究	a:　国際的な事柄を通じて、諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料を効果的に調べまとめる技能を習得することができている。 b: 国際的な事柄を通じて、政治・経済に関する概念や理論を活用することができ、対話を通じて合意形成や社会参画に向かう力を習得することができている。 c: よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	定期考査	定期考査	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度